

<手足の外傷>

手や足は、日常生活を送る上で非常に重要な役割を担っており、怪我や事故などにより損傷を受けた場合、その影響はとても大きいものになります。当科では、皮膚の切創・挫創から、開放性骨折、神経断裂、腱断裂、手指の切断まで、様々な外傷に対して治療をおこなっております。

【指の切断】

指が切断された場合、切断された指の血行を再開させる再接着手術を早急に行わないと、壊死に陥ってしまいます。指の血管は非常に細く、手術のためには顕微鏡を用いたマイクロサージャリー手技が必要となります。当科では、これらの手技を用いて積極的に再接着術を行っております。また、切断した指が見つからない、損傷が激しいなどの場合においても、周囲の組織を移動するなど、欠損が少なく済むよう治療をおこなっております。

【腱断裂、神経断裂】

手指には、指の屈曲伸展を行う腱や、感覚を司る神経など重要な組織が多く存在します。外傷に伴いこれらの組織が損傷を受けた場合、傷が小さくても“指の曲げ伸ばしが出来ない”、“感覚がない”などの症状が出現します。当科ではこれらの損傷に対しても、腱縫合術やマイクロサージャリー手技を用いた神経縫合術などを行い、手指機能の改善を目指して治療を行っております。また、術後は作業療法士と連携し、機能改善を図るためのリハビリテーションを行っております。

【開放性骨折】

外傷時には、手指骨の骨折を伴うことがあります。特に関節を含む損傷の場合、治療後も機能障害を残す可能性が高くなります。上記外傷と共に、治療をおこなっております。

【爪損傷】

“指をドアに挟んだ”、“爪を引っ掛けた”など、爪の損傷も多くみられる外傷のひとつです。いわゆる爪の部分である爪甲の剥離の他、その下の組織である爪床の損傷、骨折などを伴う可能性があります。そのままでは、爪の変形などを来す可能性があり、治療が必要です。当科では、損傷の程度により軟膏治療から縫合処置、骨固定など、爪がきれいに生えてくるよう、注意して治療を行っております。